

医療の未来をオンリーワンの技術で。

Your dreams. Woven together.

1本のワイヤーでお客様の夢を実現すること、それが私たちの使命です。



代表取締役社長
宮田 憲次

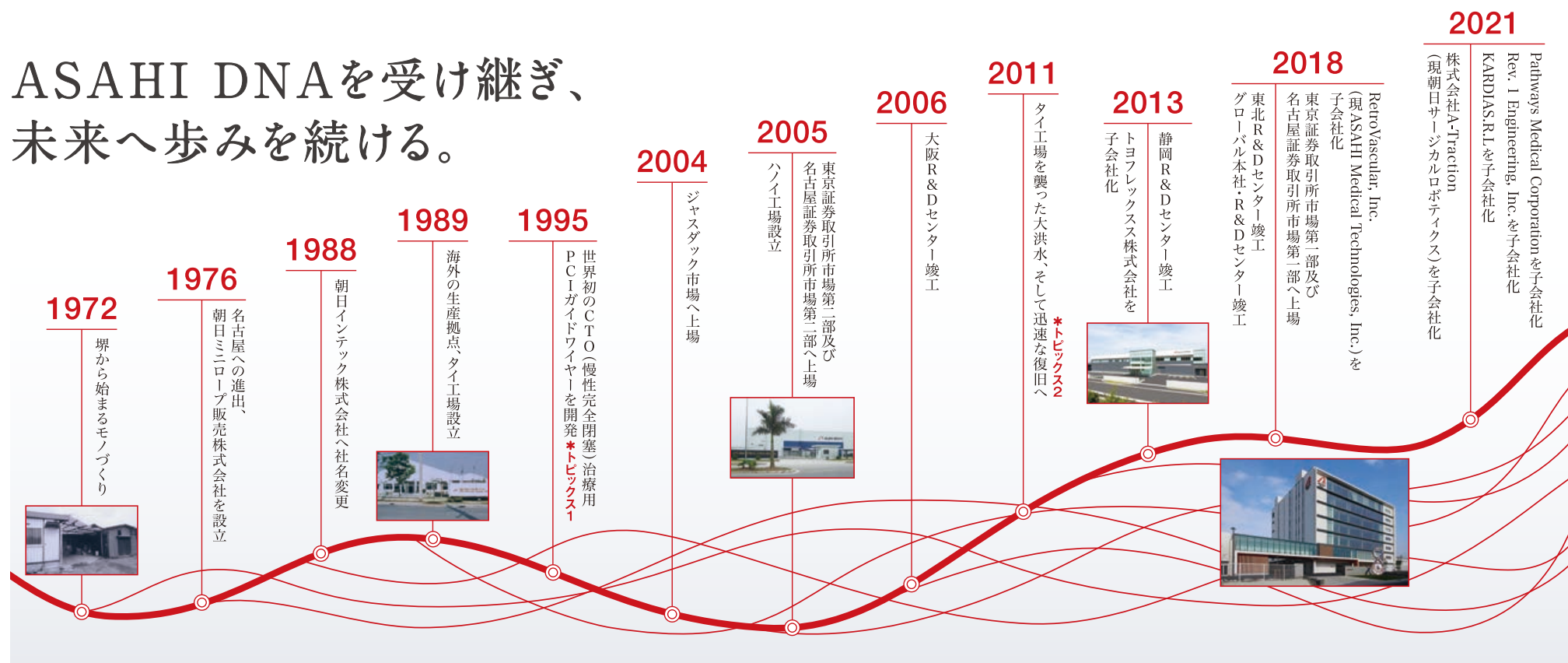
「朝日インテックのDNA」で新たな価値を生み出し 次の成長を実現する

朝日インテックグループは、これまで「Only One」技術で「Number One」製品を提供し続けていくことを使命に、研究開発型ものづくり企業として様々な課題を解決し、お客様の「夢」を実現するとともに、広く社会に貢献してまいりました。

昨今の厳しい環境のなかでも、医師や顧客の方々のニーズを叶えるためにスピード志向で愚直に取り組む姿勢や、当社の根底に流れる技術・現場志向のDNAは今後も変わることはありません。これからも朝日インテックらしさを活かし、当社ならではの価値をお届けし、新たな価値を生み出し続けることで、次の成長を実現してまいりたいと存じます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ASAHI DNAを受け継ぎ、 未来へ歩みを続ける。



*トピックス1 世界初のCTO治療用PCIガイドワイヤーを開発

「日本から世界へ、新しい低侵襲治療を発信」

日本のトップドクターからの依頼でCTO(慢性完全閉塞病変)治療に有効なガイドワイヤーを世界で初めて開発。冠動脈の血管内に詰まって長く放置された固いプラークを通過させるためのガイドワイヤーのトルク追従性とブッシュビリティとフレキシビリティを高次元で実現。日本だけでなく世界での低侵襲治療の普及に貢献しました。



CTO治療用PCIガイドワイヤー「Miracle」

*トピックス2 タイ洪水からの復旧

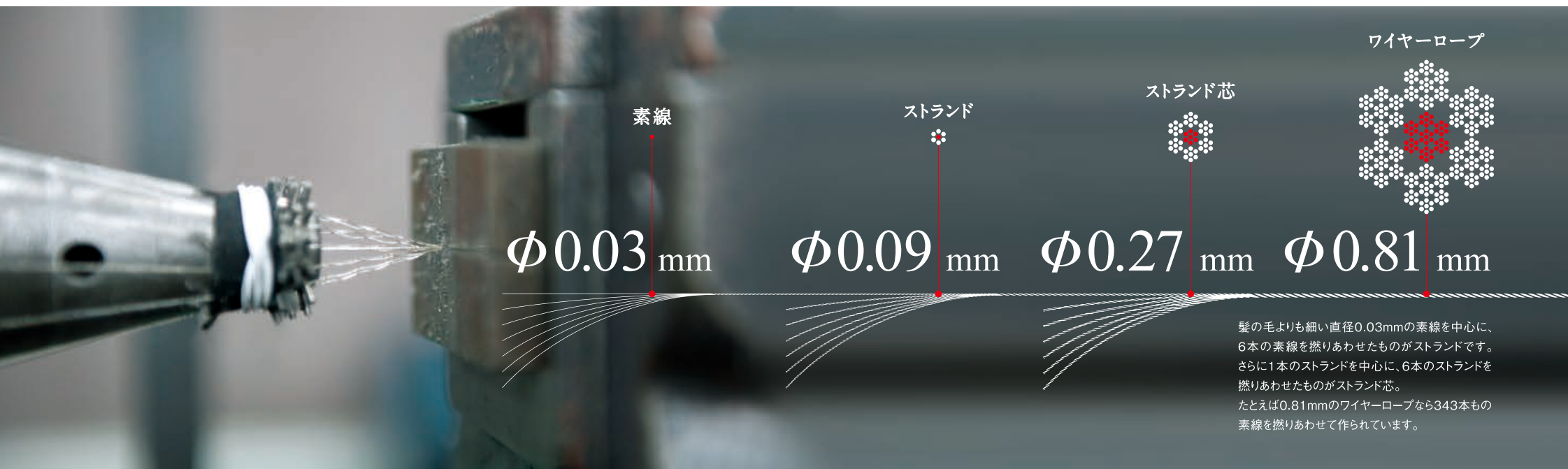
「苦難の中でも、未来の光明をつかむ」

2011年に発生した洪水により、朝日インテックの主力工場であるタイ工場での生産ができなくなりましたが、瀬戸工場や大阪R&Dセンター、ハノイ工場、全社社員一丸となって代替生産に取り組みました。この状況の中で、ハノイ工場に派遣されたタイ人社員とベトナム人社員が協力して生産活動を推進していくことにより、結果としてハノイ工場の生産技術力や生産性が向上し、生産のキャパシティも大きく引き上げることとなりました。



3mの水に浸かったメディカル工場

4つのコアテクノロジー+αを融合し、高度なニーズをカタチにしています。



4つのコアテクノロジー+α

伸線技術

Wire Drawing Technology



様々な種類のステンレス鋼線を目的にあわせた線径と強度に仕上げる技術。

ワイヤーフォーミング技術

Wire Forming Technology



ワイヤーを高精度にワイヤーロープやコイルに加工する技術。

コーティング技術

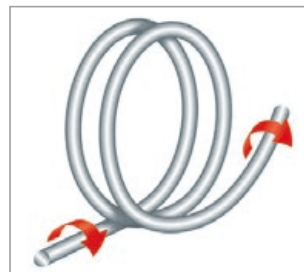
Coating Technology



ワイヤーロープやコイルにミクロン単位で樹脂やPTFEなどをコーティングする技術。

トルク技術

Torque Technology



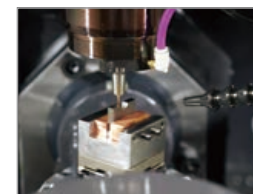
ワイヤーやワイヤーロープに理想的な回転追従性を持たせる技術。

コアテクノロジーをさらに拡げています。

レーザー加工技術



金型・射出成型技術



社外との技術連携も進めています。

ロボティクス

AI技術

高速度通信技術

「ASAHI TECHNOLOGY」でイノベーションを創出し、 世界中のプロフェッショナルのニーズにお応えします。

朝日インテックは、創業以来さまざまな産業機器に使用されるワイヤーロープの製造から始まり、
現在では医療機器分野へと広がっています。

「Only One技術」で作り上げた「Number One製品」を供給しています。

産業機器分野

Industrial Components

産業部材



4 Core Technology + α

Medical ASAHI Brand Products

自社ブランド



医療機器分野

Medical Components

医療部材



Medical OEM & ODM Service

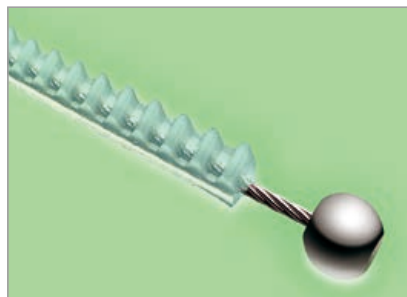
OEM & ODM サービス



創業から培ってきた技術で高機能・高品質な産業用機器を開発しています。



シンクロメッシュロープ



ケーブルラック



トルクロープ

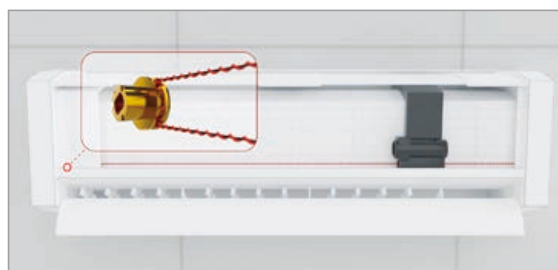
産業機器分野では、シンクロメッシュロープやケーブルラックなど、様々な機能性を持たせたワイヤー製品を、幅広い産業分野のお客様に供給しています。



OA機器 (コピー機の駆動ワイヤー)



住宅 (窓開閉ユニット)



家電 (お掃除エアコンの掃除機駆動ワイヤー)



自動車 (スライドドアの開閉機構)



レジャー (釣り糸)



スポーツ (ゴルフシューズのワイヤー)

高度なニーズに最適化した部材や製品を 世界の医療機器メーカーに供給しています。

医療部材



ケーブルチューブ



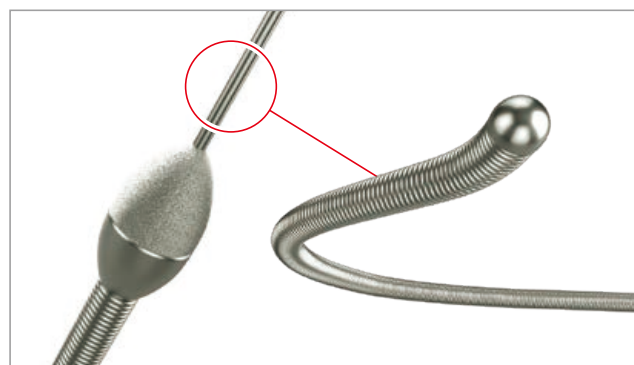
ワイヤーロープ



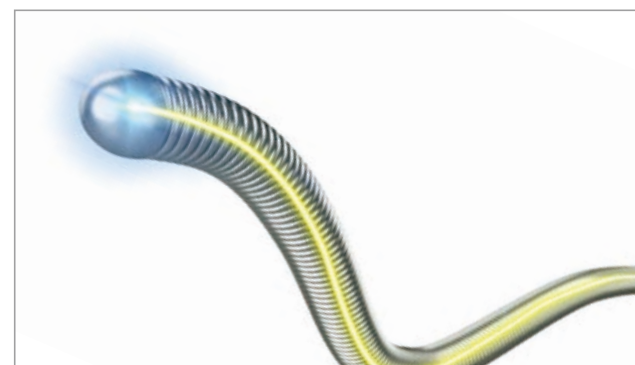
レーザー加工

OEM・ODMサービス

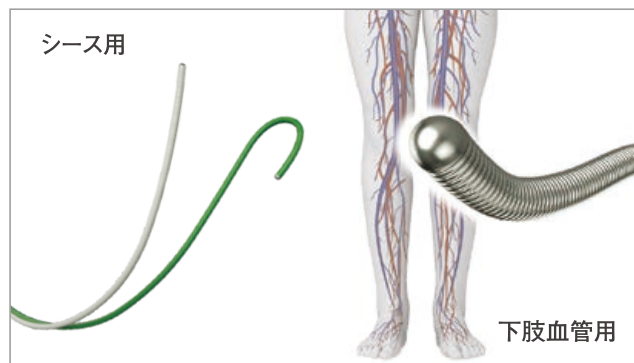
ASAHI TECHNOLOGYとして認められた技術で、
世界中の医療機器メーカーにOEM・ODMサービスを提供しています。



顧客デバイス専用ガイドワイヤー



センサーガイドワイヤー



血管用ガイドワイヤー

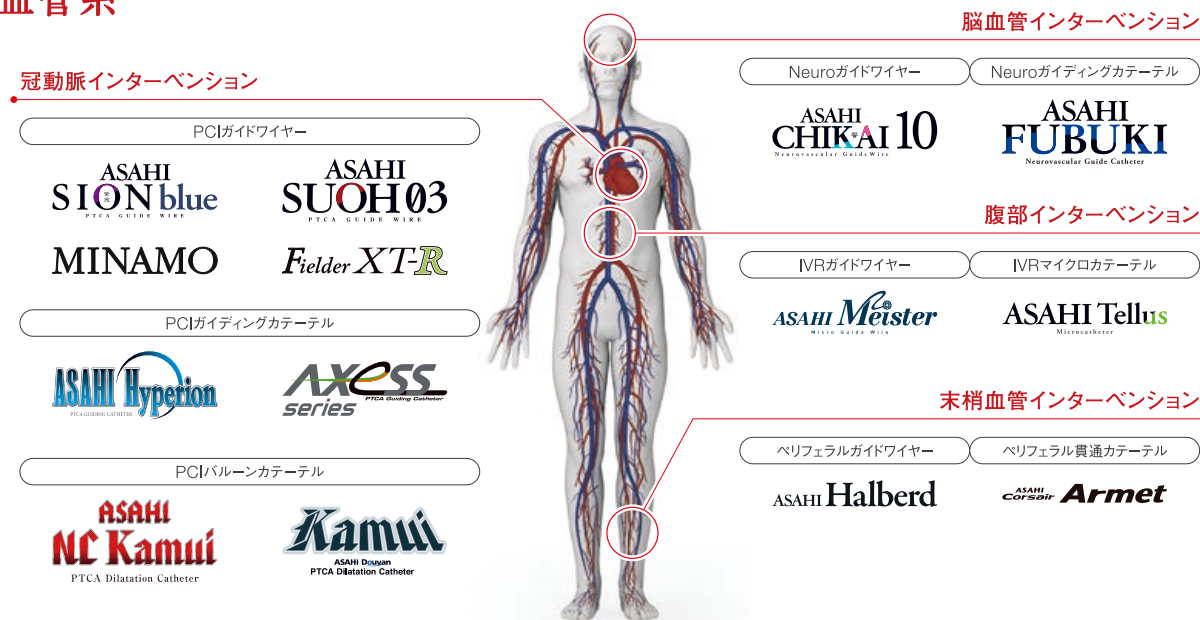


各種カテーテル、治療機具

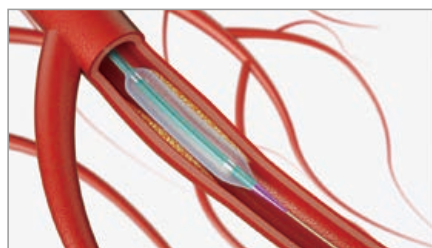
循環器をはじめとする様々な血管治療用製品に加えて 消化器治療に使用される製品も開発しています。

世界をリードする循環器系製品をはじめ、脳血管系、末梢血管系、腹部血管系などの血管内治療に使われるさまざまなデバイスを開発しています。
さらに近年では消化器内視鏡治療に使われる製品も開発しています。

血管系



消化器系



PCI治療イメージ



脳梗塞治療イメージ



ERCP(Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography)
胆管結石除去イメージ

世界中のドクターの声に答えて低侵襲治療の新しい扉を開いていきます。

循環器系



William L. Lombardi, M.D.

ワシントン大学医療センター
複雑冠動脈疾患治療ディレクター
循環器内科医学部教授



「直販を始めたことにより、朝日インテックには、技術的な知識をもった営業担当者がますます増えていくでしょう。少数精鋭チームの活動により、研究や医学教育への投資がより活発に行われていくことを期待します。」



Prof. Junbo Ge

中国科学院院士
復旦大学附属中山医院 循環器内科 部長



「おそらく今後数年で、中国国内のPCI治療件数は300万件を超えるでしょう。ですから、やるべきことはたくさんあります。まず、医師のトレーニングです。特に、若い人たちにPCIを広めていく必要があります。地域の病院、特に郡部の病院で、急性心筋梗塞などのプライマリPCI治療を行うところが増えています。」

消化器系



伊藤 啓 医師

仙台オープン病院消化器病センター長
消化管・肝胆膵内科主任部長



「循環器領域で培った技術をうまく消化器に取りこんで、改良するその力とスピードは本当に早い。たくさんの技術者が、自由闊達に意見をいうことができる社風があって、皆で解決をする、知恵を出す、いろんなアイデアを試しながら最適道に進むことができる会社ではないかと思います。」

脳血管系



Demetrius K. Lopes, M.D.

アドボケイトヘルスケア
脳血管外科総合脳卒中プログラムディレクター
外科部長



「朝日インテックは、私にとって偉大なテクノロジー偉大な製品の代名詞だと言っても過言ではありませんでした。ASAHIと聞くと、非常に高い品質だといつも感じていましたが、ASAHI製品を多く使うようになってからは、確信に変わりました。使っているうちに製品の信頼性や一貫性、そういったものを少しずつ実感するのです。」



Prof. Dr. René Chapot

アルフリートクルップ病院
神経放射線学・放射線学教授



「治療件数は大幅に増えつつあり、特殊な治療に使える製品が、今よりもっと必要です。ガイディングカテーテルの製品群、バルーンガイディングカテーテルも小型のワイヤー、吸引カテーテルをより簡単に挿入できるワイヤーなどが必要です。やるべきことは沢山あります。遠からずASAHIの新しい製品が続々と登場すると私は確信しています。」

世界中で開催される学会等でドクターの声をお聞きしています。



CCT学会 (日本)



SCAI学会 (米国)

グローバルに販売体制を構築し、110を超える国と地域に製品を供給しています。

それぞれの拠点の担当者が、学会や病院訪問などでドクターの声を収集し、グローバル本社・R&Dセンターにフィードバックしています。



グローバル本社・R&Dセンター
〔製品開発・試作〕



手術室を再現したシミュレーションルーム



世界中のドクターをお迎えして試作の評価やトレーニングなどを行っています。



ASAHI INTECC
THAILAND CO., LTD.
〔製品改良開発, 生産技術開発〕



製品改良開発や生産技術開発を行い生産現場に近いメリットを活かしています。



ダイナミックに変化する医療ニーズを捉え、
グローバルな課題をグローバルに解決する体制を構築しています。



ASAHI INTECC
USA, INC.
〔米国向け研究開発〕



米国市場でニーズの高い末梢領域カテーテルの開発を行っています。



ASAHI Medical
Technologies, Inc.
〔最先端研究開発〕



シリコンバレーから発信される技術情報の収集や、独自の機器開発を行っています。



大阪R&Dセンター
〔素材開発〕



ワイヤーに関する金属及び最先端の素材研究を行っています。



静岡R&Dセンター
〔樹脂開発〕



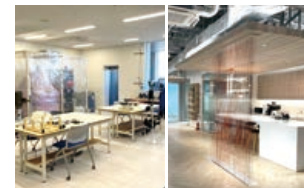
カテーテルなどに使われる樹脂素材の研究開発を行っています。



東京R&Dセンター
〔次世代スマート技術開発〕



スマート医療、医療ロボティクスなどの次世代医療機器技術および産業機器技術の研究開発を行うとともに、オープンイノベーション拠点としての役割も担います。



東北R&Dセンター
〔精密加工技術〕



金型・射出成型などの精密加工技術の研究開発を行っています。



3つの海外生産拠点が緊密に連携し、高品質な製品の安定供給を実現しています。

事業継続計画 (BCP) の観点から、生産拠点の分散化と相互補完体制を構築しています。

ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.



朝日インテックグループの第二の生産拠点として、タイ工場からの生産移管を進めつつ、生産効率化を追求しております。



ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.



朝日インテックグループの主力工場で、素材からの一貫生産を行っています。現在では、生産だけでなく製品の改良開発や生産技術開発などの役割も担っています。



TOYOFLEX CEBU CORPORATION



朝日インテックグループの第三の生産拠点として、ハノイ工場からの生産移管を進めており、産業機器分野だけでなく医療機器分野の生産も可能な体制を整えています。



グローバルに展開する拠点で同じ基準の品質管理を行い、お客様の期待に応えています。

医療機器に求められる高度な品質を保証するために、開発・生産拠点を統括してタイムリーな品質管理を行い、国際規格認証の維持・管理を行っています。

グローバルに薬事担当者を配置して、それぞれの国・地域の事情に合わせた薬事業務を行っています。



拠 点	品質マネジメントシステム認証		環境マネジメントシステム認証
朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO., LTD.	メディカル事業部 ・ EN ISO 13485 / ISO 13485 ・ MDSAP	デバイス事業部 ・ EN ISO 13485 / ISO 13485	大阪R&Dセンター ・ ISO 14001
ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	・ EN ISO 13485 / ISO 13485 ・ ISO 9001 ・ MDSAP		デバイス事業 ・ ISO 14001
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	・ EN ISO 13485 / ISO 13485	・ MDSAP	—
ASAHI INTECC USA, INC.	・ ISO 13485		—
TOYOFLEX CEBU CORPORATION	メディカル事業 ・ EN ISO 13485 / ISO 13485	デバイス事業 ・ ISO 9001	デバイス事業 ・ ISO 14001
フィルメックス株式会社	・ EN ISO 13485		—
日本ケミカルコート株式会社	・ ISO 9001		—



会社概要 [Company Profile]

社名	朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)
事業内容	医療機器の開発・製造・販売 極細ステンレスワイヤーロープ及び端末加工品等の開発・製造・販売
代表者氏名	代表取締役社長 宮田 憲次
設立年月日	1976年7月8日
決算期	毎年6月末日
資本金	188億6,079万円 (2024年6月末日現在)
従業員数	単体 1,088名 連結 9,371名 (2024年6月末日現在 / パートタイマー、アルバイトを除く)
上場証券取引所	東証プライム市場、名証プレミアム市場 (証券コード 7747)
本社所在地	〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100 TEL : 0561-48-5551 (代) FAX : 0561-48-5552

【公共交通機関ご利用の場合】

- ・JR名古屋駅より地下鉄東山線栄駅乗換
名鉄瀬戸線新瀬戸駅下車：タクシーで10分
- ・JR名古屋駅よりJR中央線高蔵寺駅下車：タクシーで20分



グローバル本社・R&Dセンターのご紹介 [Global Headquarters and R&D Center]

世界中のドクターやお客様をお迎えするための設備や機能を備え、開発部門や品質保証部門に本社機能を一箇所に集め、スピーディで革新的な技術開発を目指しています。

グローバル本社・R&Dセンター 概要

所在地 | 愛知県瀬戸市曙町3番地100
建築面積 | 2,000㎡(約600坪)
延床面積 | 14,000㎡(約4,000坪)
構造 | 重量鉄骨造 地上7階
竣工 | 2018年12月
業務開始 | 2018年12月



1F

[INNOVATION GATE(展示ショールーム)]

グローバルに展開する朝日インテックの活動の成果を一堂に集めて展示しています。ファウンダーの想い・ASAHI DNAを受け継ぐためのHISTORY ZONEやASAHI TECHNOLOGYをご紹介しますTECHNOLOGY ZONEなどを展示しています。



[GHQカテラボ]



実際の手術室を再現したシミュレーションシステムを導入。独自の人体モデルを用い、当社の技術・製品を臨床現場に近い体験が可能です。さらに世界中のドクターに参加いただいて新製品のトレーニングを行う[ASAHI TRAINING ACADEMY]も実施します。



[コンベンション・ホール]



さまざまな会議・集会等に利用するために200席の移動観覧席を設置。多彩なレイアウトが可能です。また映写システムは、世界中の拠点やGHQカテラボをつないだテレビ会議も可能です。

2F

[コミュニケーションフロア]



オフィスフロアと異なるデザインで、打ち合わせや休憩、勉強会など社内コミュニケーションを活発化するスペースです。

[GHQスタジオ]



GHQカテラボで行われるシミュレーションやドクター・インタビューなどのオリジナルコンテンツを撮影・編集し、タイムリーに世界中のお客様に発信しています。

3F

[製品開発プロジェクトブース]

革新的な新製品を開発するために、プロジェクトチームに合わせてスペースを自由に変更できます。



研究開発エリア



実験室

4F-6F

[オフィスフロア]



開発部門・品質保証部門・営業マーケティング部門・本社管理部門を一箇所に集約。スムーズなコミュニケーションを図り、業務を加速します。

7F

[社員食堂]

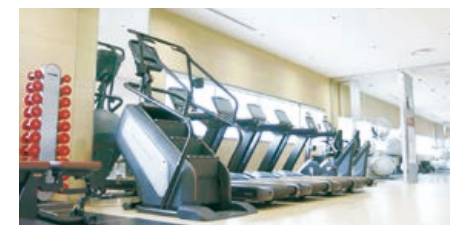


[リフレッシュスペース]



「緑と健康とコミュニケーション」をコンセプトの中心となる社員食堂に加え、簡易な打ち合わせなど多用途に利用できるリフレッシュスペースを備え、開放感のある空間を実現しました。

[フィットネスジム・スタジオ]



従業員の健康づくりに配慮し、さまざまな機器を設置しています。

